



# 名寄市立大学の窓から知への誘い

## 「子どもの発達とおもちゃの選び方」

名寄市立大学短期大学部 児童学科 教授 今野 道裕

vol.14

小さな子どもが夢中になつておもちゃで遊んでいる様子は、見ている私たちにも笑顔を与えてくれますね。子どもたちは、人やおもちゃなどと夢中になつて遊ぶことで、様々な能力を獲得したり、人としてのスキルや人間関係を学んでいくのです。そう考えると「おもちゃを選ぶ」ことは、子どもの発達にとっても重要な意味があることに気がつくでしょう。

選定する際の「3つの方向性」と「6つのポイント」は、私たちがおもちゃを選ぶときにも参考になることでしょう。

### ① 3つの方向性

- ① 健全なおもちゃ  
安全性への配慮。暴力行為や遊び内容が暴力なものではない
- ② ロングセラーおもちゃ  
一過性でない、ロングセラーおもちゃ
- ③ 遊び・コミュニケーション尊重おもちゃ  
ユニバーサルな遊びとコミュニケーションを尊重したおもちゃ

東京おもちゃ美術館の多田千尋館長は「おもちゃにも主食と副食がある」と言っています。食べ物であれば、時におやつがあることも楽しいですが、栄養を考え「主食」を選ぶのは大人の責任です。同じように、子どもが日常的にしっかりと遊ぶ主食クラスのおもちゃは、大人が選んであげたいものです。

日本グッド・トイ委員会が毎年「グッド・トイ」を

どんなすてきなおもちゃでも、その子の発達にあつていなければうまく遊ぶことができない場合もありま

す。しかし、一人ひとりの発達は個別的で個人差も大きいものです。子どもの様子をよく見るこの大切さはこんなところにも現れます。



「発達」を踏まえた「おもちゃ選び」の基準は、次のようなものでしょう。

- 0才児 音に注意を向けさせ、手の操作を促す
- 1才児 腕・手・指の活動分化をはかり、基礎的な生活習慣を身につけさせる
- 2才児 おもちゃで遊びながら、言語活動・運動機能の発達をはかる
- 3才児 いろいろな素材に触れ、表現活動を楽しませる
- 4才児 友だちと遊ぶことを喜び、継続的な遊びがで

5才児 役割分担のある遊びなどで、友だちとのつながりを深める

しかし、一番大切なことは、身近な人がしっかりと楽しく関わってあげることです。大人の楽しい動きかけや優しい見守りがあつて、子どもたちはまた安心しておもちゃで遊ぶことができると。またどんなおもちゃも、お母さんやお父さんの「いないいないばあ」や「たかいたかい」にはかきません。

またそんな意味でも「簡単なおもちゃ」を一緒に作ったりすることは、子どもにとつてかけがえのない喜びでしょう。「折り紙」や「けん玉」「お手玉」なども現代だからこそ見直されて良いすばらしい「ミニミニ・トイ」と言えるでしょう。



### 図書館的話題・絵本と学生

本学図書館にはおよそ4000冊の絵本があります。学生が読んで楽しむこともあります。主に幼児教育・保育の場で絵本を読み聞かせるための学習材料として購入しています。絵本は、耳からのことばと目で見る絵を合わせたいわば総合芸術ですので、子どもによい絵本を選ぶことは想像力や人間性を育む上でとても大切です。

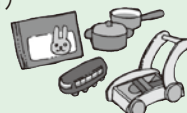
本学の児童学科では「めざせ！100冊」を合言葉に絵本をたくさん読むことを課している授業や、作家ごとの絵本展をシリーズで企画するゼミなど、絵本と親しむ活動も活発です。

読み聞かせに便利な大型絵本も30冊ほどあります。一般貸し出しも行っていますので、どうぞご利用ください。



### 大学図書館にはこんな図書があります

- ～子どもとおもちゃに関する図書～
- 『作ってあそべる製作ずかん 3,4,5歳児の保育に』  
今野道裕 (学研教育出版)
- 『東京おもちゃ美術館の挑戦』  
日本グッド・トイ委員会 (言視舎)
- 『面白すぎる「おもちゃ」研究序説』  
櫻田純 (中経出版)



- 詳しい利用案内は本学図書館のホームページをご覧ください。(大学ホームページ>付属機関>図書館)
- 問い合わせ：本館 ☎ 01654②4199[内線3114]  
分館 ☎ 01654②4199[内線2200]

